

「女性のボウサイまちづくりの会」防災体験

岡崎市内のある小学校区での防災活動。ニュースレターにもたびたび登場しています。今回は、豊田市の防災学習センターに行ってきました。

☆豊田市防災学習センター

この学習センターは、豊田市の施設で「市民一人一人の防災意識を高め、安全な暮らしを守りたいという願いを込めた施設」です。体験コーナーの「トライ」と学習コーナーの「スタディ」で構成されています。

☆みんなで体験、防災意識を持つきっかけに

運よく、岡崎市のバスで行くことができました。せっかくなので、初めての方をお誘いして、仲間を増やす機会にもなるよう、みんなで協力しました。

防災学習センターでは、消防士さんに解説をしていただきながら、トライ（防風体験、地震体験、煙体験、ドア開け体験など）をしました。

スタディのコーナーでは、揺れが収まった後のキッチンの様子がガラスの下に再現されていたり、防災クイズがあったりとたっぷり半日は楽しみながら学べそうです。



☆解説や体験から

地震だけではなく、火事も注意が必要な災害であることを再認識しました。この活動は、もともと木造密集市街地のもつ危険性や避難の重要性を共有することから始まった活動でしたので、煙体験は刺激のあるものになりました。火災時の避難の仕方や避難するドアの見つけ方など、まだまだ防災は奥が深いことが体感できました。

また、洪水の経験もある地域の方々ですので、大雨の解説には大いに共感し、当時のことを思い出したようでした。

初参加のみなさんも口々に防災について語る機会が必要であるとコメントしていらっしやいました。

☆体験してみることが一番、自分事として考えられるということも再認識しました。今後の活動の展開が楽しみとなりました。この体験をどのように広めていきましょうか？